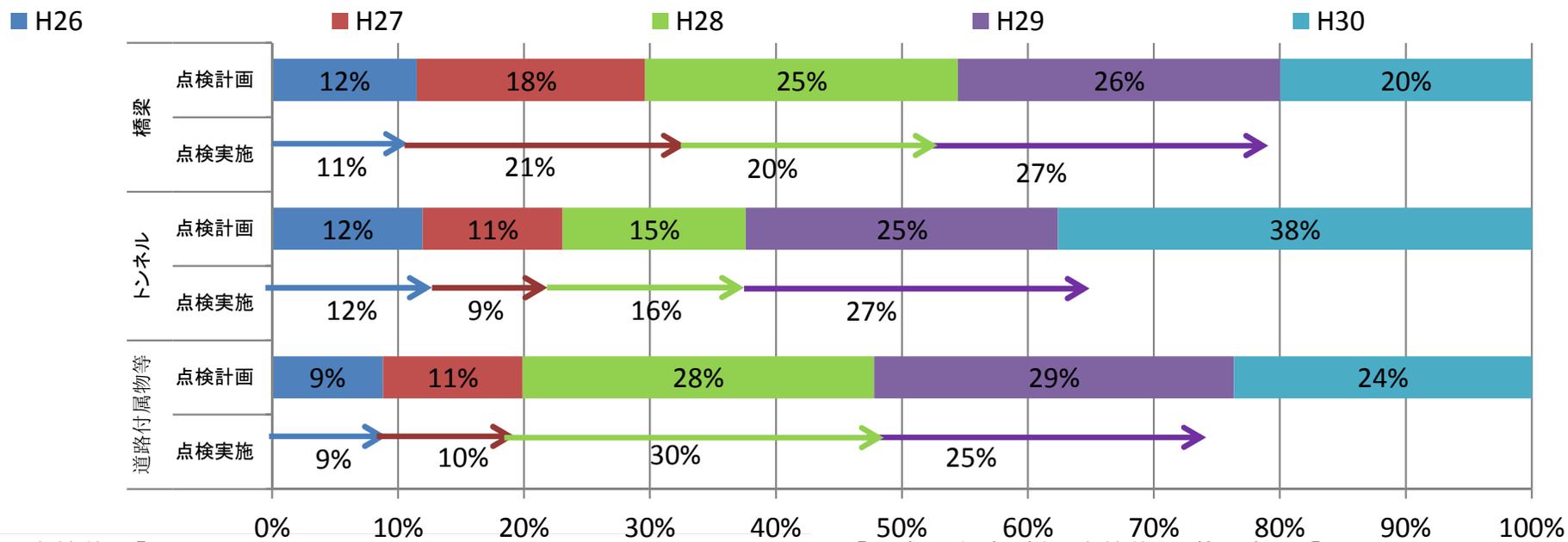


富山県内の点検進捗状況（全体）

- 平成26年7月の省令施行を踏まえ、道路管理者は全ての橋梁・トンネル・道路附属物等について、5年に1回の近接目視による点検計画を策定
- 平成29年度までの点検実施率は、橋梁約78%、トンネル約64%、道路附属物等約73%
- 橋梁、トンネルは概ね計画どおり進捗中であるが、道路附属物等は計画を下回っている状況



【平成29年度 点検状況】

橋梁状況	管理施設数	点検計画数		点検実施率
		(1段目: H26)	(2段目: H27)	
橋梁	12,838	1,451	1,443	78%
		2,286	2,646	
		3,132	2,557	
		3,227	3,413	
トンネル	119	14	14	64%
		13	11	
		17	19	
		29	32	
道路附属物等	735	66	66	73%
		83	72	
		209	217	
		214	185	

※平成30年6月時点
※点検実施数は速報値であり、精査によって変更する必要がある

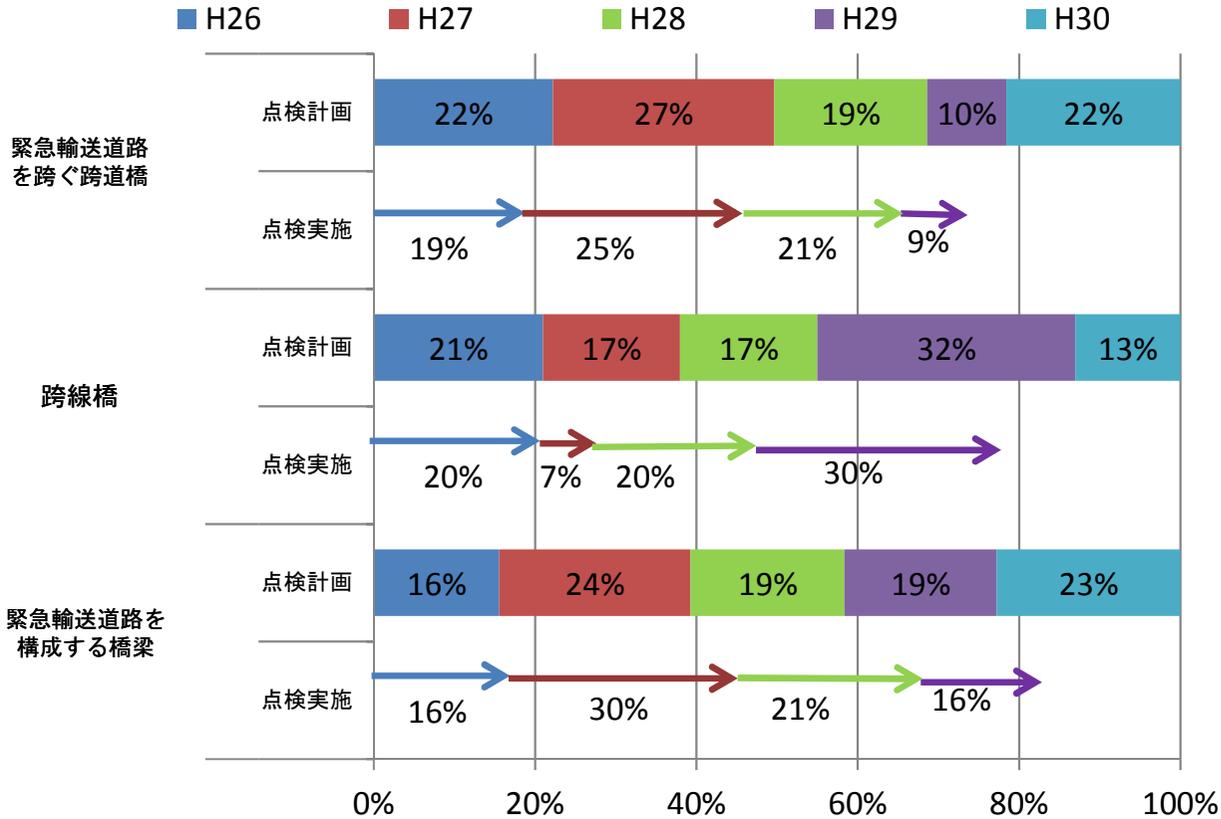
【平成29年度 橋梁点検状況(管理者別)】

橋梁状況	管理施設数	点検計画数		点検実施率
		(1段目: H26)	(2段目: H27)	
国土交通省	909	76	75	76%
		190	179	
		190	212	
		180	225	
高速道路会社	478	77	77	69%
		120	117	
		88	90	
		49	47	
地方公共団体	11,451	1,298	1,291	79%
		1,976	2,350	
		2,854	2,255	
		2,998	3,143	

※平成30年3月末時点
※点検実施数は速報値であり、精査によって変更する必要がある

富山県内の点検進捗状況（最優先で点検すべき橋梁）

- 最優先で点検すべき橋梁の点検実施率は、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋約74%、跨線橋約76%、緊急輸送道路を構成する橋梁約83%。
- 今後の点検計画が確実に実行できるよう、鉄道事業者と調整を図る。



【平成29年度 最優先で点検すべき橋梁点検状況】

橋梁状況	管理施設数	点検計画数 (1段目:H26) (2段目:H27) (3段目:H28) (4段目:H29)	点検実施数 (1段目:H26) (2段目:H27) (3段目:H28) (4段目:H29)	点検実施率
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	166	34	31	74%
		42	42	
		29	35	
		15	15	
跨線橋	105	21	21	76%
		17	7	
		17	21	
		32	31	
緊急輸送道路を構成する橋梁	2,934	429	483	83%
		652	869	
		525	608	
		519	468	

※平成30年6月時点

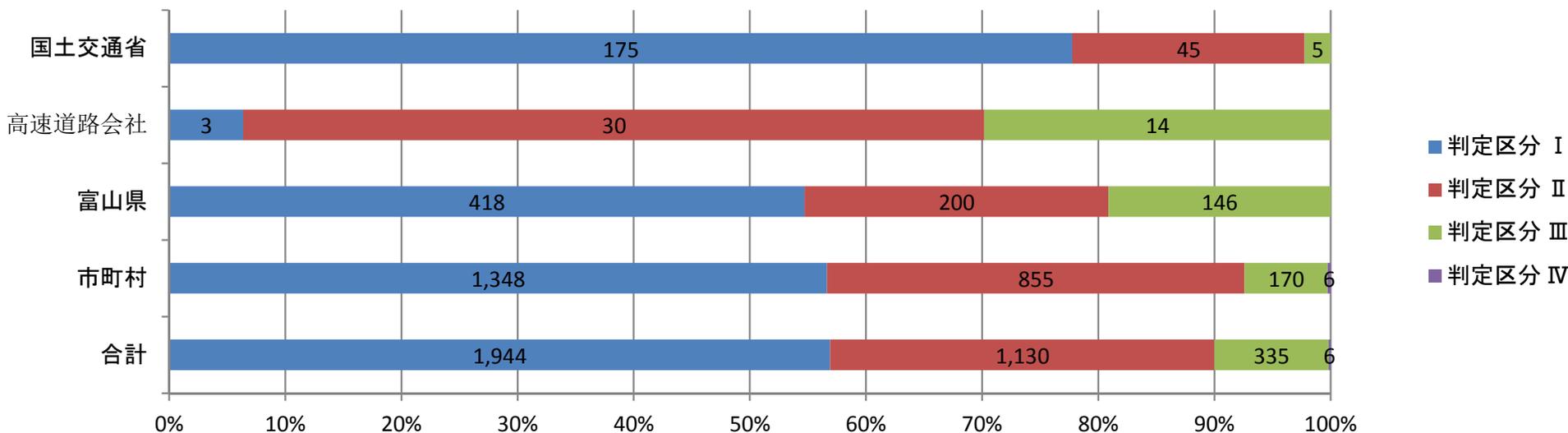
※点検実施数は速報値であり、精査によって変更する場合があります

富山県内の平成29年度点検速報（橋梁）

資料4③

○平成29年度については、判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は6橋（0.2%）、判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は335橋（9.8%）、判定区分Ⅱ（長期的な修繕コスト低減の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は1130橋（33.1%）

橋梁の判定区分



平成29年度 管理者別点検結果（橋梁）

	橋梁数	点検実施数	判定区分			
			I	II	III	IV
国土交通省	909	225	175	45	5	0
高速道路会社	478	47	3	30	14	0
富山県	3,483	764	418	200	146	0
市町村	7,978	2,379	1,348	855	170	6
合計	12,848	3,415	1,944	1,130	335	6
			56.9%	33.1%	9.8%	0.2%

※平成30年3月末時点

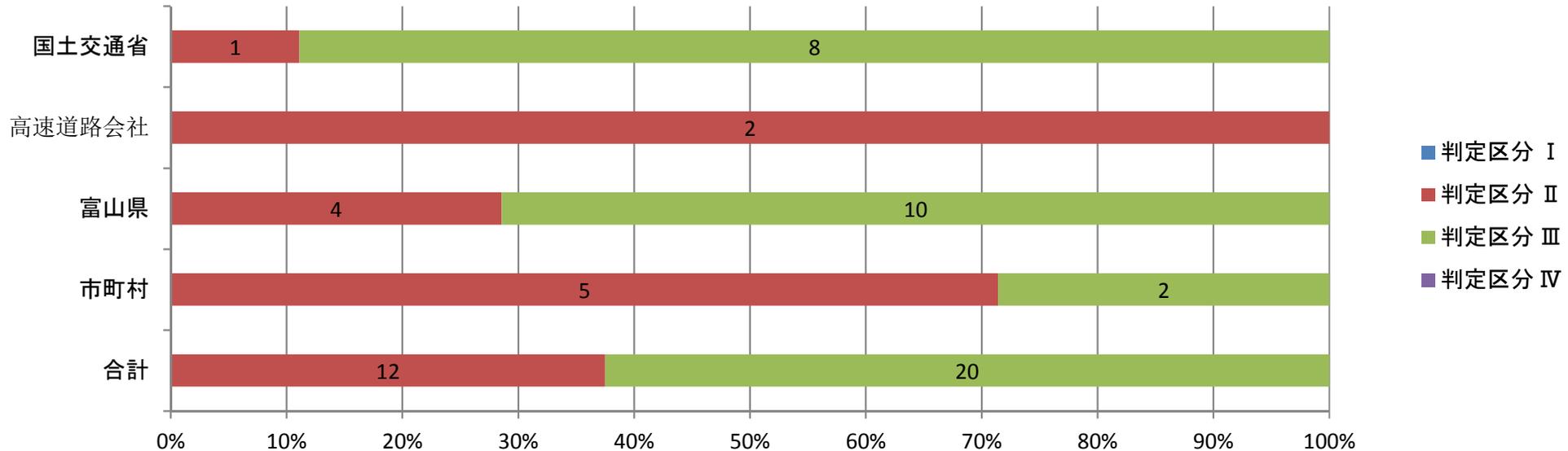
※点検実施数は速報値であり、精査によって変更する場合がある

富山県内の平成29年度点検速報（トンネル）

資料4④

○平成29年度については、判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は0本（0%）、判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は20本（62.5%）、判定区分Ⅱ（長期的な修繕コスト低減の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は12本（37.5%）

トンネルの判定区分



平成29年度 管理者別点検速報（トンネル）

	管理施設数	点検実施数	判定区分			
			I	II	III	IV
国土交通省	29	9	0	1	8	0
高速道路会社	14	2	0	2	0	0
富山県	47	14	0	4	10	0
市町村	29	7	0	5	2	0
合計	119	32	0 0.0%	12 37.5%	20 62.5%	0 0.0%

※平成30年3月末時点

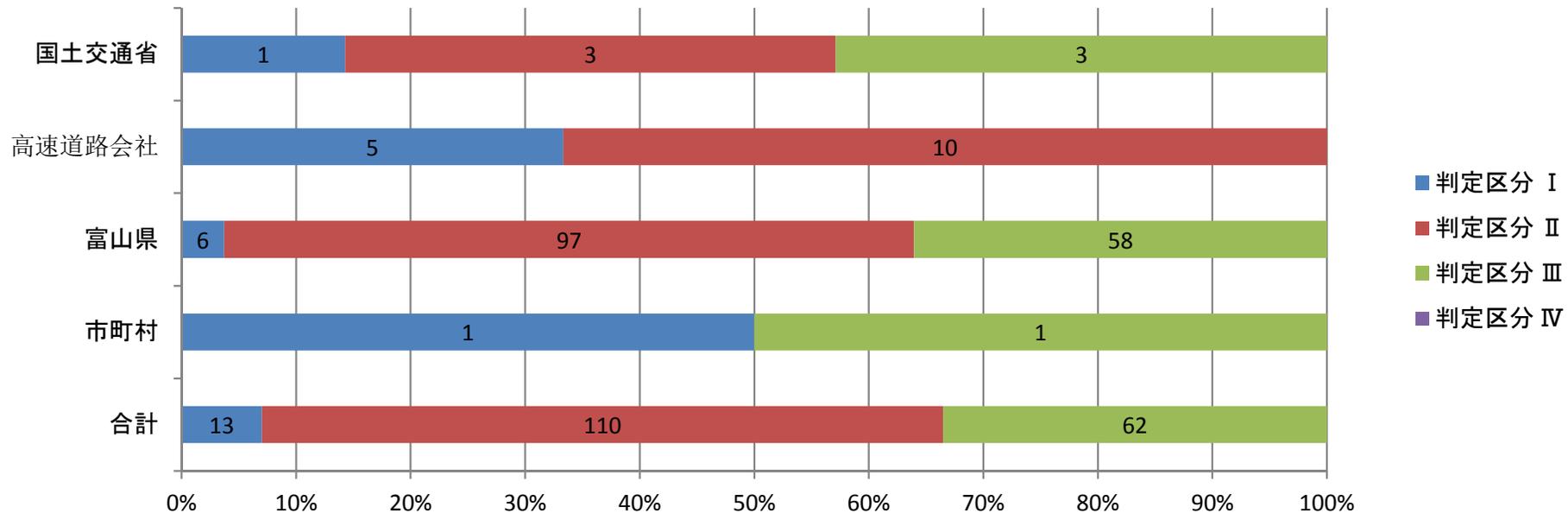
※点検実施数は速報値であり、精査によって変更する場合がある

富山県内の平成29年度点検速報（道路附属物等）

資料4⑤

○平成29年度については、判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は0基（0%）、判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は62基（33.5%）、判定区分Ⅱ（長期的な修繕コスト低減の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は110基（59.5%）

道路附属物等の判定区分



平成29年度 管理者別点検速報（道路附属物等）

	管理施設数	点検実施数	判定区分			
			I	II	III	IV
国土交通省	119	7	1	3	3	0
高速道路会社	134	15	5	10	0	0
富山県	448	161	6	97	58	0
市町村	34	2	1	0	1	0
合計	735	185	13 7.0%	110 59.5%	62 33.5%	0 0.0%

※平成30年3月末時点
 ※点検実施数は速報値であり、精査によって変更する場合がある

判定区分Ⅳの施設は、緊急措置を実施。

＜判定区分Ⅳの構造物＞

○橋梁

管理者	施設名	路線名	建設年	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置
富山市	すなくら だにばし 砂蔵谷橋	蟹寺加賀沢線	1972	主桁・対傾構の変形	全面通行止	未定
富山市	やまぶきはし 山吹橋	高熊八尾線	1955	主ケーブルの破断・断面減少	全面通行止	未定
高岡市	むめいきょう 無名橋1069	古村向野北線	不明	床版の破断・鉄筋露出	全面通行止	橋梁撤去を予定
魚津市	つきがたばし 月形橋	有山2号線	1966	支承部の腐食、沈下、移動、傾斜	全面通行止	未定
滑川市		旧県道栗山月形橋線				
砺波市	むめいきょう 無名橋546	前山線	1983	床版の変形	損傷部の通行禁止	損傷部以外の通行
砺波市	むめいきょう 無名橋564	広谷線	1956	橋台の沈下・傾き	修繕工事	修繕工事後平常どおり通行

○トンネル、道路付属物等

該当なし

※判定区分

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態